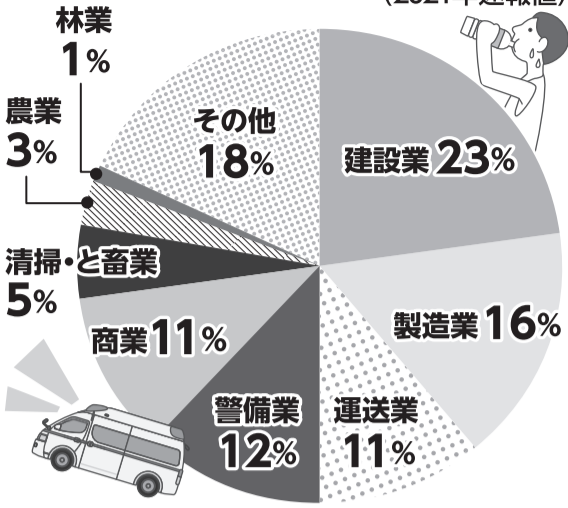


熱中症による業種別死傷者数の割合 (2021年速報値)



【全建総連本部・労対部長 田久悟記】厚生労働省発表の「2021年の職場における熱中症による死傷災害の発生状況(速報値)」では、職場での熱中症による死傷者数は547人(うち死亡者数20人)となり、過去3年と比較すると、死傷者数、死亡者数ともいずれの年よりも下がっている状況となりました。

過去5年間(2017～2021年)の業種別の熱中症の死傷者数をみると、建設業が128件と最も多く発生

し、次いで製造業が85となっており、全体の約4割がこれら2つの業種で発生しています。2021年の死亡災害は建設業が最も多く、11件発生。また、過去5年間において最も死亡災害の多人数となっており、過去5年間の全体数の約50%を占めていることから、熱中症被害においても危険業種となっています。

特徴として、①WBG T値

全建総連発 熱中症対策のススメ 死亡災害は建設業が最多

の表測、②暑熱順化の不足が疑われる入職直後の発症、③屋内作業での発症、④熱中症の発症と年齢との関係、⑤熱中症発症時の服装、⑥熱中症時期での死亡災害の事例が報告されています。

厚生労働省では、今年も「S TOP!熱中症クールワークキャンペーン」を5～9月に実施しています。WBG Tが計測できる環境の整備や、夏季の作業計画策定、緊急搬送対策を推進します。

先ず病院把握といった取り組みを事業者に求めるとして、全建総連では、熱中症対策として、労働安全・衛生活動の手引き(第4版)を活用し、暑さのピークを迎える前のできだけ早い時期に、組合機関紙や労働安全大会、各県連・組合で取り扱い講習などから周知をすすめます。また、空調作業着を含め、引き続き、熱中症防止対策のグッズのあつせんをすすめて、熱中症防止対策を推進します。

【溶接】
ガス溶接8月10日～11日(水) 木城東能力開発センター(足立区綾瀬)、1万6500円
アーク溶接8月7日～9日(日月火) 城東職業能力開発センター(足立区綾瀬)、1万9500円、ガス溶接と5日間セット割引3万4千円

【受験準備講座】
今後の求人求職につきましましては、東京土建本部の無料人材紹介所・労働者供給事業をご活用ください。詳細につきましては、本部(TEL:03-5332-3971)もしくは所属の支部へお問い合わせください。

事業支援・仕事・技術・資格の情報ページ

不払いや融資など仕事・経営の相談は遠慮なく東京土建の各支部事務所まで。

残業時間の規制強化への対応

どのように2024年4月を迎えるか…
2024年3月31日に「明日から残業減らせ」絶対無理!

- A. 残業時間を減らす対策なしで2024年4月を迎えると
→同じ仕事量と同じ効率でやれば、人を増やさないとけない。(人件費増、経営圧迫)※人員を急に募集して集まるかという問題もある
- B. 残業時間を減らす対策実施
→現状の人員で仕事の回し方などを再検討して効率を上げる(仕事の取り方を変える、工期に余裕を持たせる、…)
※自社だけでなく、元請も巻き込んだ交渉や準備が不可欠…時間がかかる

労働時間規制は、仕事のまわり方、取り方、人員の配置、などに大きな影響が出る可能性

※場合によっては職人の給与制度なども再検討が必要
…十分な準備と説明が必要

だから 今から準備!

業にも適用されることを見据え、建設業の働き方改革を推進する施策を本格化させることを発表しました。他産業では摘発事例もあり、建設業でも注視が必要です。働き方改革への対応が急務の中で、従業員一人一人の労働時間の把握が重要になってきます。

今まで建設業で当たり前だった働き方が通用しなくなり、時間外労働の未払い賃金・不当解雇による慰謝料・安全配慮義務違反等が請求されることが多くなっています。損害になる可能性がますます。今一度、自社の働き方を見つめ直し、これからどう向き合っていくのか、何から取り組むのかを考えました。

今、弁護士による労働法規についての動画がYouTube等で簡単に手に入るようになりました。今後、従業員が調べて、訴えてくる可能性が増えることが予想されます。実際に調査が入った会社もあるかと思えます。労働時間をしっかりと明確に管理し、記録することが重要です。そうすれば、残業代の削減・休日整備に繋がります。それぞれの会社に合った働き方を見つけていただき、慢性的

【作業主任者】
木造建築物の組立て10月11日～12日(火水) 池袋、1万1500円
足場8月30日～31日(火水) 池袋、1万1500円
地山・土止め(掘削面高さ2m以上となる地山掘削と土止め支保工) 10月25日～27日(火水木) 池袋、1万7千円
有機溶剤(塗料・シンナー)に

【特別教育など】
職長・安全衛生責任者9月1日～2日(木金) 1万4500円
含有のエチルベンゼンや塗料剥離剤のシクロロメタンでも必要に) 9月21日～22日(水木) 池袋、1万1500円
酸欠・硫化水素(暗渠・マンホール・槽・ピット等)での作業 8月23日～25日(火水木) 池袋、1万9500円

【特別教育など】
職長・安全衛生責任者9月1日～2日(木金) 1万4500円
丸のこ・熱中症9月8日(木) 池袋、8千円
池袋、8千円、丸のこのみ5千円、熱中症のみ3500円、自由研削砥石と2日間セット割引1万4500円、石綿も含む3日間セット割引1万7500円

【求人】
現場監督、施工監理(正規) ㈱ワイズアクトリー(府中国立支部)
03-5332-1675-1
ボイド・LCS(請負)
佐藤昭彦(足立支部)
080-3469-1801
型枠大工(正規・請負) ㈱相模(江戸川支部)
03-3665-3105-5
※東京土建「ことNET」が6月末で終了したに伴い、本紙への求人掲載も今号が最終掲載となります。

事業所セミナー 2年後の適用見据え 建設業でも働き方見直しへ

【本部・大崎理記】6月28日、本部事業所対策委員会が主催し、「働き方改革の対応せまる…基礎講座・労働時間の把握」と題した連続セミナーの第一回目を開催。社会

保険労務士の高田聡史さんが東京土建本部会館(WEB併用)で講演を行ない、全体で38人の参加がありました。東京労働局は2024年に時間外労働の上限規制が建設

業にも適用されることを見据え、建設業の働き方改革を推進する施策を本格化させることを発表しました。他産業では摘発事例もあり、建設業でも注視が必要です。働き方改革への対応が急務の中で、従業員一人一人の労働時間の把握が重要になってきます。

ら、学びました。「これも労働時間になるのか」などの声が寄せられました。

従業員と一緒に成長する会社に

な人手不足を解消しよう。長時間労働にいいことはありません。安定経営を目指し、従業員と共に会社も成長できるように関係づくり、環境づくりを意識しましょう。



講師の高田さん

連続講座 2022年度 第2回 事業所セミナー
働き方改革への対応せまる… 基礎講座②: 残業代とそのリスクの把握

7月27日(水) 19時～20時30分 18時30分開場
会場 東京土建本部会館とWEB(ZOOM)
講師 高田 聡史 特定社会保険労務士
費用 無料
参加対象 事業主・総務担当者等

連続セミナー2回目は、残業代とそのリスクについてです。今まで見ていなかった残業代を把握し、残業代の現実とその隠れたリスクを考えます。学習後は希望の方2人まで個別相談ができます。(要予約)

第2回目の学習テーマは
「残業代とそのリスクを把握する」
労働時間を正確に把握する。出勤・休みだけの把握ではなく、何時から働き何時に仕事が終わったのか…、残業時間は何時あったのか…。実例をもとに労働時間・残業時間の把握と残業代の現実を知っていただくことがテーマです。

3回目の予定
日程 8月25日(水) 19時～20時30分
☆気になる回の時だけの参加もOKです。お気軽にご参加ください。

お申込みは支部に配布済のチラシ裏面(東京土建HPからでもダウンロード可)の申込書をFAX(03-5332-3972)してください。